令和5年度 芸術 科 「 工芸 I 」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年A～H組
教科書	工芸 I (日本文教出版)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	木製スプーン	生活と工芸	用途に応じて使いやすいデザインになるように考える	アイデアスケッチ
	5			糸鋸の使い方を覚え、意図にあった形に加工できるようにする	制作途中の作品
	6			彫刻刀を使い、細かい加工を施す	制作途中の作品
第1学期	7			やすりを荒い目の順番に使用して磨いていく	制作途中の作品
	7			ニスを塗り完成させる 完成した作品を鑑賞	完成した作品 ワークシート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	秋をデザインしよう (平面構成)	生活と工芸	身近にあるポスターなどを参考に平面デザインについて学ぶ	ワークシート
	10			「秋」という言葉からモチーフを連想する 連想したモチーフを組み合わせて平面構成を行う	アイデアスケッチ

第2学期	11	CDジャケット制作	生活と工芸	色々なCDジャケットを鑑賞する	ワークシート
	12			自分の好きな曲からアイデアを膨らませる	アイデアスケッチ
				アイデアを基に、実際にCDジャケットをデザインする	完成した作品
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	真鍮キーホルダー	生活と工芸	金属やアクセサリーの文化について学ぶ	ワークシート
	2			アクセサリーのデザインを考える	アイデアスケッチ
	3			デザインをけがき彫りする	制作途中の作品
				作品の完成。鑑賞	完成した作品 ワークシート

3 評価の観点

知識・技術	現代における工芸の価値を理解し、様々な工芸作品を知ることにより工芸の多様性について学びを深める。
思考・判断・表現	工芸作品のよさや美しさを知り、自ら表現方法を創意工夫する。
主体的に学習に取り組む態度	工芸の創作活動の喜びを味わい、生活や社会における工芸の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞などの活動に取り組む。

4 評価の方法

「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に判断する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

作品や素材を通して、豊かな感性を身につけていきましょう。